

## アートいちほら2015秋

“トキワ”は“トキのワ(時の輪)”ではないだろうか。

直線ではない円環をイメージしていた縄文人の時間軸だと思うのです。 ————— 白井忠俊



「どんな答えを欲しているのか忘れてしまった」 2010年 撮影:宇佐美雅浩



「藪入り」 2013年 撮影:宇佐美雅浩

内田未来楽校では市内在住の画家白井忠俊による絵画インスタレーション及び、縄文土器を素材とした作品を展示します。

白井は蛇を円筒面に描いた「円筒絵画」により独自のスタイルを確立しました。描かれた蛇は縄文人の時間感覚である“循環する時間軸”を表します。縄文土器の文様はへびを表し、始まりも終わりもない命の連鎖を表すと考えます。このような背景にたどり着いたのは市原市中央にある“米沢の森”でした。

会場となる木造校舎は地域では数少ない築80年になる歴史的建造物になります。地域の有志により守り受け継がれています。この機会に森から産み出された作品と市内に残る木造校舎をご鑑賞ください。

### | 期間中のイベント |

#### | ワークショップ「土器片で縄文大蛇を作ろう！」

11月23日(月・祝)13:00~16:00

校舎の廊下に土器片を組み合わせて大蛇を描いてみましょう。

1回につき3組、30分ごとに交代します。

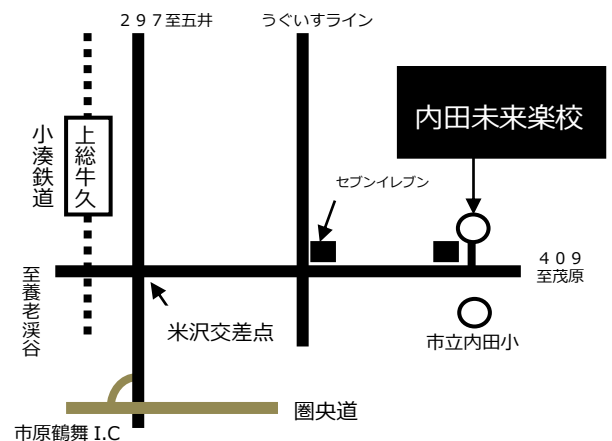
#### | ギャラリートーク 作家による解説

11月22日(日)・29日(日)13:00~14:00

### | 食のイベント |

会期中 内田未来カフェ・緑の休憩所オープン

11月22日(日)・29日(日) 郷土料理体験



※連携会場以外に内田未来楽校から15分ほど車を走らせると美術館 as it is に行けます。おすすめです。

※イベントの情報は公式ウェブサイトにてご確認ください。http://ichihara-artmix.jp